

# 水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiku/seikuryoho.html#suitou>

第 1 報  
千葉県農林水産部  
令和8年5月22日

## 全体的に茎数が多い傾向です

## 生育状況をよく確認し、中干しを適期に行いましょう

### [ 生育概況 ]

気象状況は、気温は4月の第1半旬から第3半旬にかけて平年より高く、第4半旬以降は平年並～高く推移しました。日照時間は4月第5半旬から5月第1半旬にかけてはやや少なく、5月第2半旬以降は多く推移しました。

4月20日植えの水稻の生育は、草丈が「やや短～並」で、茎数が「やや多～多」となっています。5月1日植えも同様の傾向です。

表 1 品種別の生育状況（5月20日現在）

品種	植付時期	生育程度（平年値との比較）※		
		葉令の進み	草丈	茎数
ふさおとめ	4月20日	やや早	やや短	やや多
ふさこがね	4月20日	並	やや短	多
コシヒカリ	4月20日	並	並	多
	5月1日	並	やや短	多
粒すけ	4月20日	並	やや短	多

※平年値は直近10か年（2016～2025年）の平均値。

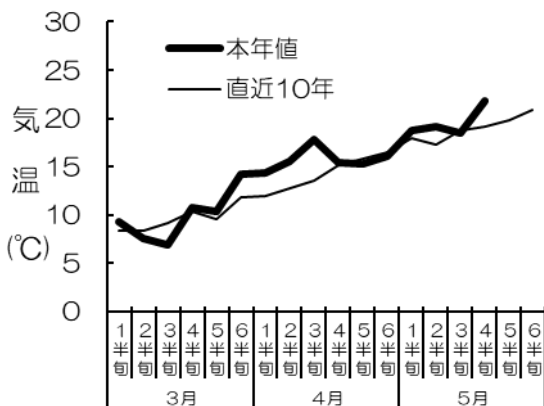


図 1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

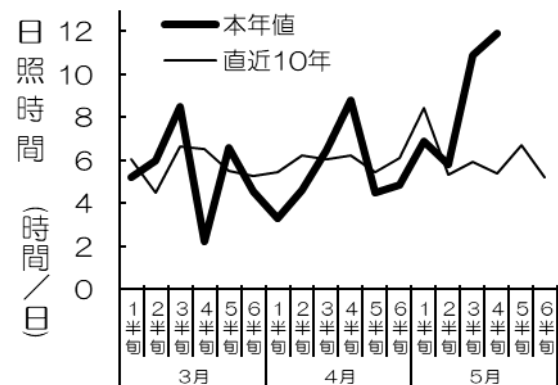


図 2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

## [ これからの管理のポイント ]

### ■ 生育に合わせた水管理を

気象庁の5月21日発表の1か月予報によると、気温は高い見込みです。今年は全体的に茎数が多くなっています。適正な茎数とするため、中干しが遅れないように生育状況をよく観察しましょう。

中干しは過剰な分げつを抑え、地中深く根を張らせる効果があるため、近年、頻発している登熟期の高温登熟障害の予防としても有効です。また、倒伏防止や還元障害（ガス沸き）対策に有効です。土壤水分にムラが生じやすい場合は、「溝切り」を行うことでムラが解消でき、中干し効果が高まります。

表2 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m <sup>2</sup> (18本/株)	310本/m <sup>2</sup> (17本/株)	300本/m <sup>2</sup> (16本/株)
	5月1日			
粒すけ	4月20日	472本/m <sup>2</sup> (26本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株)	

※（ ）内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安。  
極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがある。

### ■ 病害虫の適期防除

病害虫発生予報第2号（5月15日）によると、スクミリンゴガイの予想発生量は「やや多」、イネドロオイムシは「少」、イネミスゾウムシは「やや少」、いもち病は「並」となっています。病害虫発生予察情報は、右の二次元コードよりご覧ください。

#### ○ スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

スクミリンゴガイは、九十九里沿岸部を中心に被害が発生しています。初期の食害を避けるため、浅水管理や薬剤防除を実施します（右の二次元コード参照）。

### ■ イネばか苗病の抜き取りのお願い

本田で発生したイネばか苗病を放置すると、収量などに影響するほか、胞子が飛んで周りのほ場の苗にも伝染します。特に、採種ほ場の周辺で本病が発生すると、その採種ほ場では種子としての出荷ができなくなる場合があり、優良な種子の供給に支障をきたす恐れがあります。

稲作農家全体に関係する問題ですので、本病の発生が見られたら、出穂前までに罹病株を株ごと抜き取り、水田から離して埋設処理するなど新たな感染源とならないよう防除をお願いします（右の二次元コード参照）。



あなたの田んぼは **平ら** ですか？

# 均平からの総合防除

らせん上部の長さが



## ジャンボタニシ対策は均平から！

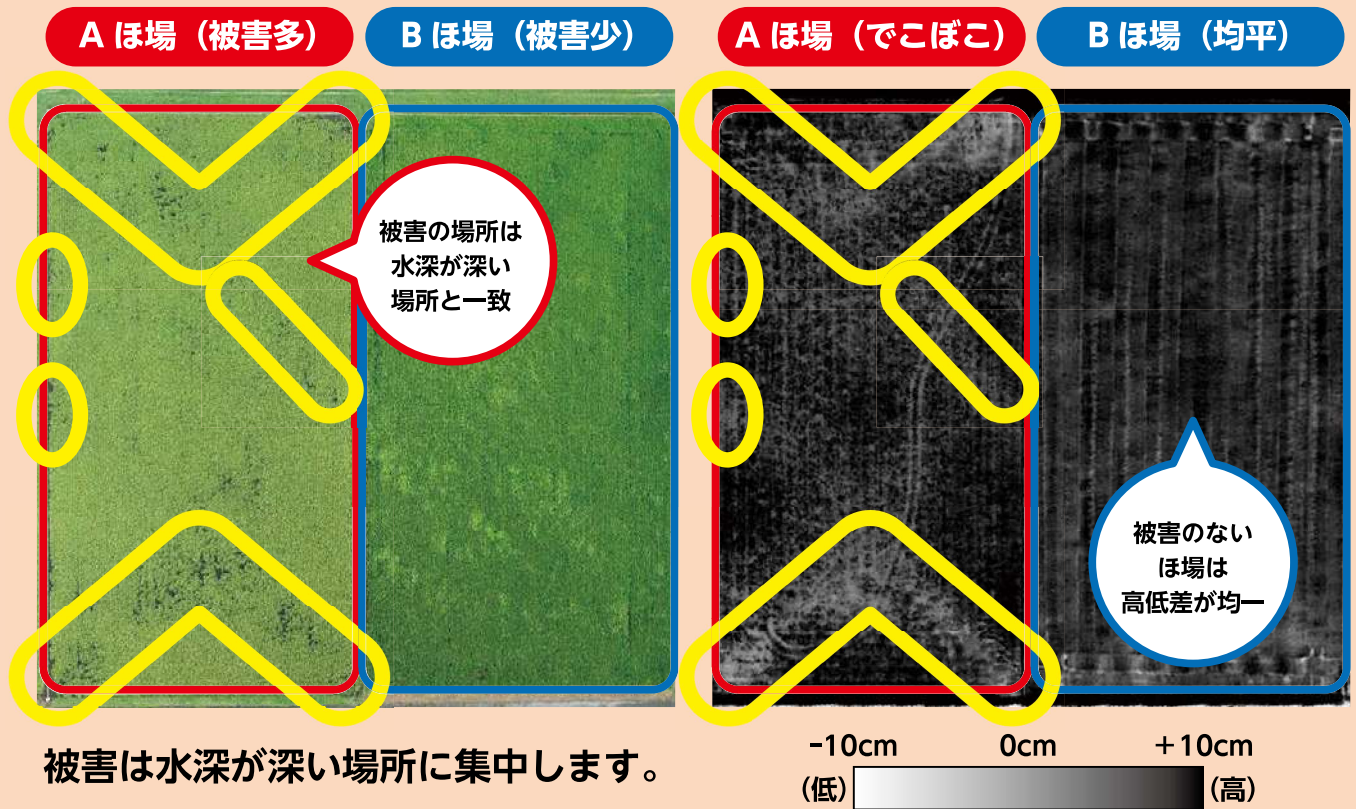


貝がいても、隣に大発生のは場があっても、ほ場が均平なら被害はゼロ！

あきらめずに、**STOP!** ジャンボタニシ被害！

千葉県

## 特に均平による浅水管理がオススメ！



## どうしてV字模様に深くなるの？

コンバインの使い方が均平度に影響を及ぼしている場合があります。

V字模様は収穫後の田面にあるコンバインの操作跡に酷似！

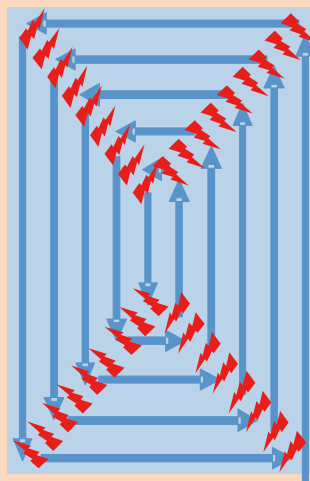
4辺を刈り取る方法では、クローラーの切り返し部分は低くなり、刈り始めには稲わらが落ちず土が固まってしまう。

一方、切り返しを減らす方法では、特定の部分の土が固まったり沈んだりせず、ほ場全体が均平になりやすくなります。

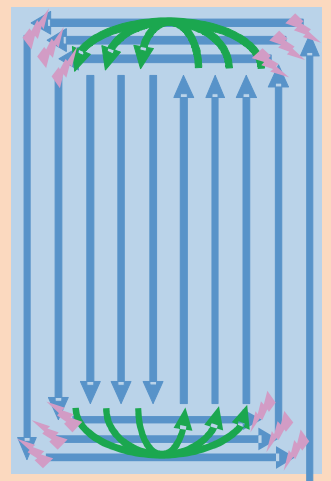
日ごろの作業を丁寧に行うことも有効です！



### 4辺を刈り取る方法



### 切り返しを減らす方法



- 刈り取り作業
- ⚡ 乱暴な切り返し
- ↻ 切り返さず旋回
- ⚡ 穏やかな切り返し

## どうやって均平にする??

水を張った時や、田植え後1か月程度の被害がよく見える時に、水深が深くなる場所を記録しておきます。

冬期にレーザーレベラーや、フロントローダー、整地キャリアなどを使って、高いところから低いところへ土を移動させます。



レーザーレベラー



フロントローダー



整地キャリア

仕上げに、代かき時に水深を確認しながら均平にします。

ただし、水を張った状態だと思ったより土は動かず、また、土を練りすぎてしまうため、部分的な土の移動にとどめます。



代かき整地

## 均平はメリットばかり

均平にすることで、肥料や除草剤の効きが均一になります。

生育が揃い、作業効率が上がります！  
水管理もラクになります！

ジャンボタニシの被害が出ていてもいなくても

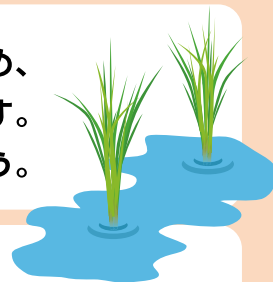
浅水管理をするためにはまず均平から！

均平なほ場では浅水管理ができなくても被害が少ない傾向があります。  
生育ステージが進むにつれて食害は目立たなくなります！

# 均平+αの対策の組み合わせが基本!

## 早植え

○ジャンボタニシは気温が上昇すると活動を始め、柔らかい小さい苗（4葉期まで）を食害します。移植時期を早め、苗を早期に大きくしましょう。



## 浅水管理

○水深が浅いと貝の活動が抑制されるため、田植後約3週間は水深を4cm以下（理想は1cm）に維持しましょう。

## 田植時・ 田植後の 農薬散布

- メタルデヒド粒剤（例：スクミノン、ジャンボたにしくん）、  
リン酸第二鉄粒剤（例：スクミンベイト3、スクミンブルー）等の  
登録薬剤のいずれかで、殺貝や食害防止を図りましょう。
- 農薬の使用にあたっては、必ず農薬登録内容（ラベル）を  
確認してください。
- 水温があがり（15℃以上）、貝が触角を出して活発に動いて  
いる姿を確認してから散布しましょう。
- 苗が5葉期以降になると、食べられにくくなります。  
それまでの間、浅水管理をしたうえで、貝の発生が多い  
場合は農薬を併用して食害を防ぎましょう。

## ジャンボタニシ被害低減対策事業

環境農業推進課では、ジャンボタニシの防除に取り組む地域に対して支援を行っております。

**レーザーレベラーを所有しない農業者が、委託により実施する均平作業  
補助単価 15,000円/10a (定額)**

補助には要件があるため、下記のお問い合わせ先や、お近くの市町村までお問い合わせください。

※令和8年2月現在、予算要求段階の額であり、変更になることがあります。

お問い合わせ

農林水産部環境農業推進課 043-223-2888

または、所轄の農業事務所まで

(令和8年2月作成)

# 水稲生育予測システム 「でるた」

## 現場で使える水稲生育予測アプリ



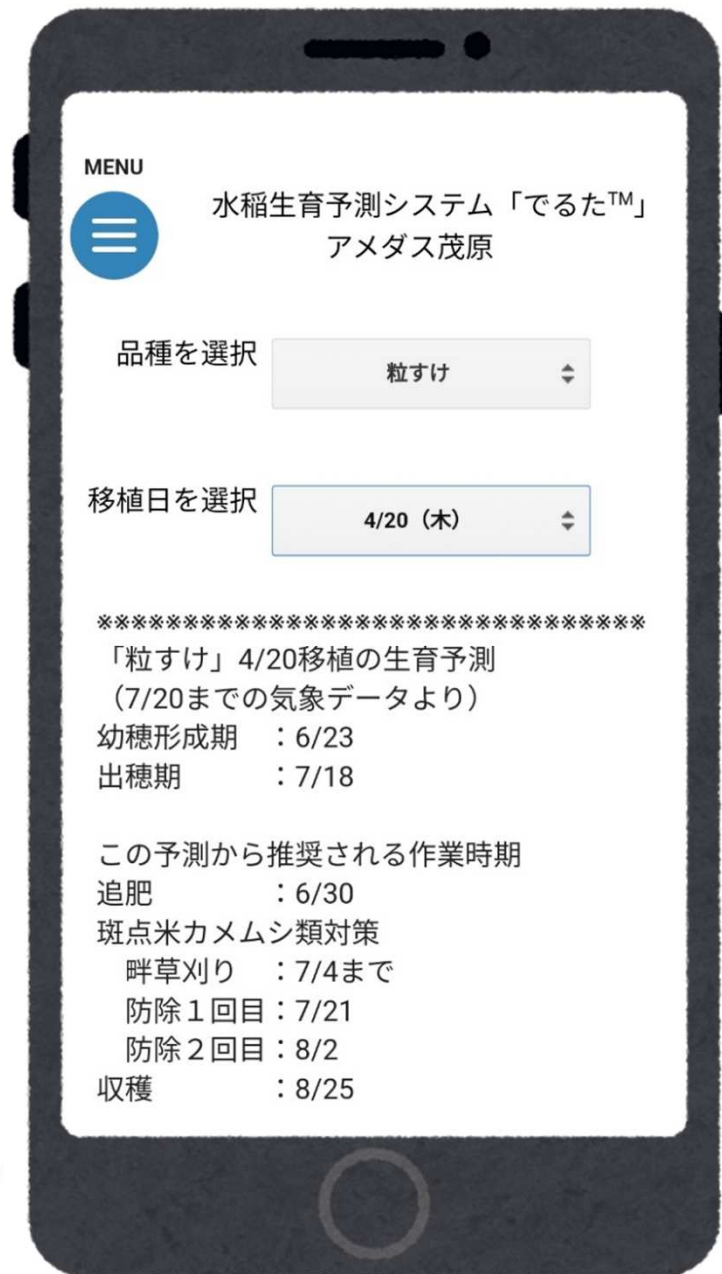
スマートフォン  
で簡単操作！



穂が出る田んぼ  
が分かる！



品種と移植日から  
作業目安を予測！



〔 連絡先 〕

千葉県農林総合研究センター水稲温暖化対策研究室  
(TEL : 043-292-0016)

詳細は  
こちら



<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/system/delta.html>